

## 前期基本計画 平成28年度 政策方針評価書

政 策： 03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

担当部長職・氏名	経済産業担当部長 齊藤 和博
----------	----------------

1. 政策の平成28年度までの実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

		<p>目指すまちの姿は「雇用環境が充実し、みんなが安心して生き活きと働けるまち」です。このため、滝沢市の特性や強みを活かし、地域資源を活用して顧客ニーズに応じた価値の創造や、産学官連携や異業種連携を推進し、競争力の高い産業の育成を目指します。この結果、雇用拡大と産業振興を図り、次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します。</p>
--	--	--

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 自分の仕事に満足している人の割合 単位 %	53.5	54 53	55 53.5	56 -	57 -	58 -	D 0.0	
2	幸福 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じる人の割合 単位 %	39.5	40.5 40.4	42 40.4	43.5 -	45 -	46 -	C 13.8	
	単位								

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 03010000 地域資源を活用した戦略的な産業振興 チャグチャグ馬コの入込客数 単位 千人	28	28.5 22	29 18	29.5 -	30 -	30 -	D △500.0	
2	幸福 03010000 地域資源を活用した戦略的な産業振興 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75 72.3	75.7 78.3	76.4 -	77 -	77.7 -	C 117.1	
3	暮らし 03020000 企業集積と産学官連携の推進 IPUイノベーションセンター・パークへの立地件数 単位 %	18	20 20	21 19	23 -	25 -	26 -	C 12.5	
4	幸福 03020000 企業集積と産学官連携の推進 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合 単位 %	39.5	40.5 40.4	42.5 40.4	43.5 -	45 -	46 -	B 13.8	
5	暮らし 03030000 農林業の振興 農業後継者（販売農家）の有無の割合 単位 %	55.2	55.7 55.2	55.7 58.6	55.7 -	55.7 -	55.7 -	A 680.0	
6	幸福 03030000 農林業の振興 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合 単位 %	39.5	40.5 40.4	42 40.4	43.5 -	45 -	46 -	B 13.8	

## 前期基本計画 平成28年度 政策方針評価書

政 策：03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

担当部長職・氏名	経済産業担当部長 齊藤 和博
----------	----------------

### 2. 政策の実現に向けての平成28年度までの取り組み状況を分析する

#### (1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活用した戦略的な産業については、産業創造センター(たきざわキッチン)のオープンに向けて指定管理者と協議を行い、産直や滝沢ブランド発信の仕組みを構築しました。</li> <li>・企業集積と産学官連携の推進については、盛岡西リサーチパークの1区画を既存企業に譲渡し分譲を完了しました。イノベーションセンターに2社の企業誘致を行いました。</li> <li>・農林業の推進については、農地中間管理事業を推進するとともに、多面的機能支払交付金事業では8つの保全組合が組織されました。また、相の沢牧野の管理運営は通年での預託を実施しました。</li> </ul>	

#### (2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成28年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業創造センター(たきざわキッチン)のオープン準備、・企業誘致の促進、・農地中間管理事業を活用した農地集積の推進、・多面的機能支払事業の推進、・相の沢牧野の通年運営による畜産の振興</li> </ul> <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業創造センターのオープンに向けて、産直会を組成するとともに観光協会事務局の移転を行いました。</li> <li>・企業誘致については、盛岡西リサーチパークは全区画分譲完了しました。IPUイノベーションセンターには2社を誘致しました。</li> <li>・農地中間管理事業により農地集積を進めました。多面的機能支払事業については、1つの保全組合が組成され8組合となりました。相の沢牧野については冬季預託を引き続き実施しました。</li> </ul>	

### 3. 政策の実現に向けて平成28年度実施後での変化（外部環境・内部環境）を認識する

A	取組みの継続
<p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TPP交渉についてアメリカが離脱</li> <li>・国における農協等の改革</li> </ul> <p>【内部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者の高齢化</li> <li>・盛岡西リサーチパークの用地完売</li> </ul> <p>【環境変化と対応の認識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の農業政策の変化について引き続き情報の収集に務め関係者で協議する必要があると考えます。</li> </ul>	

### 4. 政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

#### (1) 平成30年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策の達成のため、本市の特性を活かしながら計画している事業を確実に実施する必要があると考えます。</li> </ul> <p>【引き継ぎ事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらなる滝沢ブランドの創出のため、平成28年度に取り組んだ「馬資源を活用した農産物のブランド化・地域共創事業」の展開する必要があります。</li> <li>・盛岡西リサーチパーク用地完売に伴い、新たな事業用地の確保に向けて検討する必要があります。また、IPUイノベーションパークへの企業誘致を進める必要があります。</li> </ul>	

